

静嘉堂創設 130 周年・新美術館開館記念展Ⅲ

お雛さま——岩崎小彌太郎へようこそ

Ohina-sama—Welcome to the Residence of Koyata Iwasaki

会 期：2023年2月18日(土)～3月26日(日) 休館日：月曜日 <5週間 32日開催>

開催場所：静嘉堂@丸の内

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-1-1 明治生命館 1階

開館時間：10:00～17:00 ※金曜は 18:00 閉館。入館は閉館時間の 30 分前まで

主 催：静嘉堂文庫美術館(公益財団法人静嘉堂)

ホームページ：<https://www.seikado.or.jp/> twitter：@seikadomuseum

お問合せ：電話 050-5541-8600(ハローダイヤル)

入 館 料：一般 1,500 円 大学・高校生 1,000 円 中学生以下無料



心を、うごかそう。
Art Moves Us All.



岩崎家の雛祭りへようこそ。

小彌太夫妻の芸術文化への造詣の深さを象徴する作品の一つに岩崎家のお雛さまがあります。このお雛さまは、岩崎小彌太が孝子夫人のために、京都の人形司に特注したといわれる昭和初期の愛くるしい童子形の名品で、昭和4年(1929)に竣工した小彌太の麻布鳥居坂本邸(現：港区六本木、国際文化会館)の客間で披露されていたことが写真によって分かります。

本展では、昭和9年竣工の明治生命館内の静嘉堂文庫美術館(静嘉堂@丸の内)で、鳥居坂本邸の雛人形段飾りの背景に立つ高さ3mの川端玉章筆「墨梅図屏風」(初公開)とともに岩崎家のお雛さまをご覧ください。あわせて、小彌太夫妻の日本画の師でもあった前田青邨が描いた、玄関の衝立やダイニングルームなどに飾った大作ほか、邸内で愛でられた品々で皆様をお迎えします。小彌太郎の雛祭りをお楽しみ下さい。



五世大木平藏「岩崎家雛人形のうち内裏雛」(昭初期 20世紀)



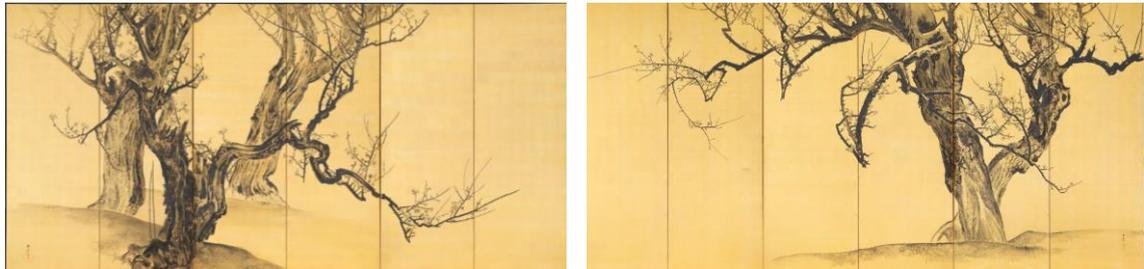
鳥居坂本邸、客間に飾られた岩崎家雛人形(昭初期 20世紀)

3つの見どころ！

① 岩崎小彌太の鳥居坂本邸で飾ったお雛さまの様子に思いを馳せる！

巨大金地屏風とお雛さま！

古写真には、小彌太郎客間の寝殿造り段飾りの岩崎家雛人形の背後に、大きな金屏風が写っています。これが高さ 3m に及ぶ巨大金地屏風、川端玉章筆「墨梅図屏風」。世田谷岡本の静嘉堂文庫美術館では大きすぎて公開できなかった本作を、天井の高い「静嘉堂@丸の内」で本邦初公開！



川端玉章「墨梅図屏風」明治時代（19～20 世紀）

② 雛祭りに小彌太郎に招かれたような臨場感が味わえる！

玄関やダイニングルームを飾った前田青邨の大作が勢ぞろい！

鳥居坂邸玄関には、岩崎小彌太に日本画を手ほどきした、巨匠・前田青邨画伯の衝立がありました。現在、表裏を分解して額装した「唐獅子」および、ダイニングルームを飾った「蘭陵王」と、青邨の大作を他の調度品と共に公開します。



前田青邨「唐獅子」（元：衝立）
昭和前期（20 世紀）

③ もちろん、京都の人形司・五世大木平藏の愛らしい人形たちがお待ちしています！

岩崎家の雛人形・雛道具は、白くつややかで丸い顔の幼児姿、着物や道具には家紋が入るなど特注



五世大木平藏 「岩崎家雛人形より五人囃子」、同女雛」昭和前期（20 世紀）

品で、当時の技術の粋が集まっています！京都の人形司・丸平大木人形店で詠えたものです。

序章 江戸の雛まつり

三月三日の雛まつりは、女の子の健やかな成長を祈る“桃の節句”として、江戸時代に広まりました。本章では岩崎家に残された絵画や工芸品により、江戸時代の3月の風物詩・雛まつりを概観します。



左 「貝合わせ」(江戸時代 18 世紀)
中. 北尾重政(無款)「子供五人囃子のうち鼓」大判錦絵揃物(江戸時代 18 世紀)
右. 「立雛 次郎左衛門頭」(江戸時代 18 世紀)

第一章 岩崎小彌太鳥居坂本邸へようこそ

岩崎小彌太は、昭和4年(1929)に麻布鳥居坂本邸(現:港区六本木、国際文化会館)を竣工します。小彌太が孝子夫人のために特注したお雛さまも、この客間に飾っていました。この章では、小彌太夫妻の日本画の師・前田青邨「唐獅子」(玄関衝立)、同「蘭陵王」(食堂に掲げた120号の大作)、「白玉獣面文方鼎式香炉」(食堂)、屋敷のタイルを制作し、小彌太が釉薬研究を支援した小森忍「亘鈞釉獅子」など邸内を飾った美術品をご覧ください。



小彌太還暦記念祝賀会
鳥居坂本邸(昭和14年)



小森忍「亘鈞釉獅子」(昭和3~9年)

第二章 岩崎家の雛祭り

岩崎家雛人形は、小彌太が孝子夫人のために特注した、昭和初期の美術工芸の名品です。これは、京都の人形司で、有職故実に精通した、丸平大木人形店の五世大木平藏によるもので、愛らしい子供の姿の内裏雛です。この度は五世大木平藏 雛人形一式を、3mに及ぶ川端玉章の巨大な「墨梅図屏風」(初公開)の前に飾り、邸内の大広間に飾られた姿に近い形で、ご覧いただく予定です。あわせて、大広間を飾っていた牧俊高「能彫 梅若六郎能姿羽衣」や、岩崎家を代表する重文 野々村仁清「色絵吉野山図茶壺」、「吉野山蒔絵十種香道具」、そして国宝「曜変天目」などとお楽しみください。



(上) 五世大木平藏「岩崎家雛人形より三人官女」
(左)客間に飾られていた、牧俊高「能彫 梅若六郎能姿羽衣」(明治末~昭和初 19~20 世紀)



重文 野々村仁清「色絵吉野山図茶壺」江戸時代(18 世紀)



国宝「曜変天目(稲葉天目)」南宋時代(12~13 世紀)

第三章 小彌太夫妻の芸事

小彌太夫妻は、大正 12 年の関東大震災の後、しばらく京都に滞在します。この頃、丸平大木人形店にもしばしば訪れたといわれ、また本格的に茶の湯、俳諧、日本画などを嗜むようになりました。本章では、小彌太遺愛の茶道具や遺墨などをご覧ください。

★関連イベント

ミュージアム雅楽コンサート「宮田まゆみ—匏竹のたわむれ」

演奏者 宮田まゆみ（笙）、中村仁美（箏）、八木千暁（龍笛）

監修 田村博巳（演出家・元国立劇場制作部長・元新国立劇場・おきなわ部長）

【日時】2月25日（土）18時開演

【場所】静嘉堂@丸の内 ホワイエ

【料金】一般 3,500 円 ただし美術館観覧券が必要

【定員】80 名、事前予約制

【申し込み方法】 ホームページにてオンライン決済/

美術館受付・ミュージアムショップでも販売

1月2日（月・振休）より発売予定

静嘉堂@丸の内の天井の高い美しい空間で、初の雅楽のコンサートを開催します。詳しくは当館ホームページをご覧ください。

【報道に関するお問い合わせは】

◆静嘉堂文庫美術館 広報事務局（共同 PR 内 担当：三井）

※在宅勤務も増えているため、メールでいただけると助かります。

E-mail: seikado-pr@kyodo-pr.co.jp / TEL. 03-6264-2382

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 10F

◆静嘉堂文庫美術館 E-mail:press@seikado.or.jp TEL. 080-1708-7717（広報担当：大森）

E-mail:seikado-pr@kyodo-pr.co.jp
静嘉堂文庫美術館 広報事務局行(共同PR内 担当:三井)

開館記念展Ⅲ「お雛さま―岩崎小彌太郎へようこそ」 2023年2月18日(土)～3月26日(日) 静嘉堂文庫美術館(静嘉堂@丸の内)
【広報作品画像データ申請書】

展覧会の広報を目的として本申請書にてご申請いただいた記事・番組に限り、本展の広報用画像の使用が可能です。本展の会期中であっても別の記事・番組への転用はできませんので、その際には改めてご申請をお願いいたします。ご使用可能期間は本展会期終了までとなります。また、掲載に際しては、下記注意事項をご確認いただくとともに、本展終了後、データは速やかに破棄・削除してください。必要事項をご記入の上、E-mailでお申し込みください。E-mailでの送付が難しい場合、FAXでお申し込みください(FAX:0120-653-545)

<画像使用全般に関する注意>

●展覧会名、会期、会場名などの開催概要のほか、指定表記、作家名、作品名、制作年を必ず掲載してください。所蔵元はまとめて1か所ご記載ください。

●会期中、展示替えがございます。

●作品画像は全図で使用してください。原則として文字を重ねる、トリミングなど画像の加工・変更・部分での使用はできません(屏風作品で右隻のみ、左隻のみの掲載や工芸品などでの画像背景を削除するなど可能です)。雑誌の表紙などへの使用をご希望の場合は広報事務局までお問い合わせください。

●概要など確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で広報事務局までお送りいただきますようお願いいたします。

●掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録DVDを本展広報事務局へ1部ご送付願います。

希望	NO.	指定表記・作家名・作品名/画像資料名	制作年/制作年代	所蔵元/画像提供元	展示期間
	1	五世大木平藏《岩崎家雛人形》のうち「内裏雛」	昭和初期・20世紀	静嘉堂文庫美術館蔵	通期展示
	2	鳥居坂本邸、客間に飾られた岩崎家雛人形	昭和初期・20世紀	静嘉堂文庫美術館蔵	通期展示
	3	川端玉章《墨梅図屏風》	明治時代・19～20世紀	静嘉堂文庫美術館蔵	通期展示
	4	五世大木平藏《岩崎家雛人形》のうち「五人囃子」	昭和前期・20世紀	静嘉堂文庫美術館蔵	通期展示
	5	五世大木平藏《岩崎家雛人形》のうち「女雛」	昭和前期・20世紀	静嘉堂文庫美術館蔵	通期展示
	6	《貝合わせ》	江戸時代・18世紀	静嘉堂文庫美術館蔵	通期展示
	7	北尾重政(無款)《子供五人囃子のうち鼓》	江戸時代・18世紀	静嘉堂文庫美術館蔵	通期展示
	8	《立雛 次郎左衛門頭》	江戸時代・18世紀	静嘉堂文庫美術館蔵	通期展示
	9	小彌太還暦記念祝賀会、鳥居坂本邸にて	昭和14年(1939)	静嘉堂文庫美術館蔵	通期展示
	10	小森忍《亘釣釉獅子》	昭和3～9年(1928～1934)	静嘉堂文庫美術館蔵	通期展示
	11	五世大木平藏《岩崎家雛人形》のうち「三人官女」	昭和前期・20世紀	静嘉堂文庫美術館蔵	通期展示
	12	牧俊高《能彫 梅若六郎能姿 羽衣》	明治末～昭和初期(19～20世紀)	静嘉堂文庫美術館蔵	通期展示
	13	重要文化財 野々村仁清《色絵吉野山図茶壺》	江戸時代・18世紀	静嘉堂文庫美術館蔵	通期展示
	14	国宝《曜変天目(稲葉天目)》	南宋時代(12-13世紀)	静嘉堂文庫美術館蔵	通期展示
	15	ポスタービジュアル			

ご住所	〒				
社名/媒体名	社名		媒体名		
ご所属/担当者名	ご所属		ご担当者名		
TEL/FAX	TEL		FAX		
E-mail					
掲載号/発売予定日	月号(月 日号) /		月 日発売予定 (発行部数 部) <input type="checkbox"/> WEBへの転載あり		
チケットプレゼント	<input type="checkbox"/> 読者プレゼントを希望する ※プレゼント内容・数量に関しては別途ご相談となります。応募、当選者選定、発送は貴社でお願いできればと思います。編集部で対応できない場合は広報事務局までお問い合わせください。				
チケット送付先	※上記ご住所と異なる場合は記載をお願いします。				